

令和 7 年度第 2 回 茂原市スポーツ推進審議会 会議概要

- 1 日 時 令和 7 年 8 月 21 日（木） 15 時 00 分～16 時 25 分
- 2 場 所 茂原市市民体育館 第 1 会議室
- 3 出席委員 中村委員、井下田委員、鶴澤委員、阿部委員、井上委員、土屋委員、長谷川委員
- 4 出席職員 教育部長 佐久間尉介、教育部次長・教育総務課長 新木和敏、スポーツ振興課長 石井直美、スポーツ振興課長補佐 内山俊樹、スポーツ振興課 久保田健一、中村一之、小高恵子
- 5 傍 聴 者 0 人

会議進行 内山

- 1 開会
本日の会議の出席委員は 7 名です。茂原市スポーツ推進審議会条例第 6 条第 2 項に規定されている委員の半数以上の出席を満たしているため、本審議会は成立しています。
- 2 あいさつ 中村会長
- 3 議題
(1) 第 3 次茂原市スポーツ推進計画の基本理念について【資料 1～3】
(2) " 基本目標について【資料 4～5】
(3) その他

茂原市スポーツ推進審議会条例第 6 条第 1 項の規定により、中村会長を議長として議事を進行した。

議 長 議長を仰せつかりました中村です。
皆さん、今年度から意見交換シートがお手元にあると思います。表が議題(1)基本理念について、裏が議題(2)基本目標についてということで、事務局から説明後、各委員の皆様から、ご意見等を伺いたいと思います。
どんなことでも結構です。ご意見でも、ご質問でも、感想でも構わないと思います。
(1) 第 3 次茂原市スポーツ推進計画の基本理念について
それでは、説明をお願いします。

事務局 基本理念についてご説明させていただきます。資料 1 をご覧ください。
基本理念は、次期スポーツ推進計画を策定する上で、計画の目指す指標であり、指針となるものであると認識しております。
1、現計画の基本理念ですが、「市民ひとり 1 スポーツ」とし、副題として「スポーツを楽しみ、健康で活気のあるまち茂原」と定めております。また、基本理念の説明文を加えております。この内容は、第 1 次計画から変更はございません。
2、基本理念ですが、最初に申し上げた通り、基本理念とは、一般的に事業や施策の根底にある価値観、その実現に向けて具体的な施策や取り組みを展開していくための羅針盤ともいえるものです。
具体的には、5 年の計画期間の中で、目指す目標であり、指針となるものです。

委員の皆様にご意見をいただきたいのは、計画を策定し茂原市として何を目指していくべきなのかという点です。現計画での基本理念と副題、説明文の中には、具体的な数値目標は示されておられません。基本理念を定めて、どういう状況にすることを目標として目指すべきなのかということを、本日の議題として、ご意見をいただきたいと考えております。

次に3、基本理念の検討にあたって、(1)人口減少及び少子高齢化の状況ですが、これは前回も出した資料ですが、全国的に少子高齢化が進み、本市のスポーツ人口も減少傾向にあります。また、高齢化を考慮した施策なども検討していく必要があります。

(2)市民アンケートの調査結果ですが、資料2をご覧ください。まず1年間で、スポーツ運動の実施状況ですが、行ったが72%で、前回の60%よりも高くなっております。これを年齢男女別でみると、男女とも70代以上の実施率は高く、60代が一番低い状況で、年齢が下がるごとに実施率は上がっております。

次に、スポーツ・運動をしている割合ですが、週1回以上、実施している割合は、合計で52.8%。昨年度の調査では、国は52.7%、千葉県は59.8%となっております。男女別年齢では、2ページに記載の通りです。

3ページをご覧ください。3、スポーツ・運動の実施割合別の意識についてですが、(1)健康についてどう感じているか。スポーツ・運動の実施割合で見ると、実施率が高いほど、健康だという意識が高くなっております。

(2)、体力について、自信があるかどうか。スポーツ・運動の実施割合で見ると、実施率が高いほど、体力があると感じている、割合が高くなっております。

4ページをご覧ください。

(3)運動量について。自身の運動量についてどう感じているかを、スポーツ・運動の実施割合で見ると、実施率が高いほど、足りていると感じている割合が高くなっております。

また、1年間で行ったスポーツ・運動では、1位がウォーキング散歩29%。2が筋トレ12%、3位が体操8%など、個人でできる運動が上位を占めております。

次に(3)検討にあたってですが、資料3をご覧ください。これは前回の資料に一番右の欄に「1週間に1度以上のスポーツ実施率」を加え、3ページに今年度から計画がスタートした都内の自治体を追加しました。

基本理念そのものは、様々ですが、数値目標を設けている自治体では例外なく1週間に1度以上スポーツしている割合を数値目標として掲げています。本市においても基本理念の検討にあたっては、数値目標の設定を検討する必要があると考えています。説明は以上となります。よろしくご審議のほどお願いいたします。

議長 ありがとうございました。

ただいま説明がありましたが、基本理念を定めるにあたって、しばらく時間をかけたいと思います。もうしばらく資料をご覧くださいと思います。

委員 説明の中で、1年間で行ったスポーツ運動ということで、個人でできる運動が上位を全部占めている。例えば、ウォーキング、或いは筋トレ体操だということですけども、この理由は何か考えられますか。

事務局 明確な理由というのは、正直分らないですけども、他市でも同様の傾向にあります。同様のアンケートを千葉県、国でもやっています。概ね個人でできるスポーツが上位を占めているのは同様です。競技として、複数でやるといって、人を集めたり、場所を確保したりすることが当然ある。そこで、近所で散歩するとか、手軽なスポーツがどうしても上位を占めているということではないか。

委 員 資料の2の男女別のグラフで、女性に関しては、30代の女性が、実施率が低いのは子育て中という理由づけがあるんですけども、男性の場合、60から69歳が、週に1回以上で見ると、一番低くなっている。何か分析があれば教えていただきたいのが1つ。次の3ページの(1)の、健康意識／実施割合のグラフがあると。ですけども、ご自身で健康ではないと考えているその理由が、わかれば教えて欲しいなと思います。この部分の方々が運動することが大切であると考えています。

事務局 ご質問について、いずれも明確な理由は不明です。まず、運動の実施率がなぜ低いか理由を記入しているわけではないので、想像ですが60代ではまだ仕事をしている方が多くて、役職で言うところある程度責任ある立場で、そういった関係があるのではないかと推測します。あと健康でないと回答している理由ですが、特に理由を、記入している訳ではないので、健康診断等で指摘があったとか、病気を患っているとか、そういう状態の方がこういう回答をしているのではないかと推測になります。

委 員 2点ほど質問になりますけども。
1年間でのスポーツ運動の実施状況ということで、男女とも70歳以上は多く、60代の実施率が低いという結果が出ている。70歳以上となると、多分、健康志向の方が多いので、いろいろやっているのかと思うのですが。60代の実施率が低いということが出ていまして、今、質問ありました中で、一応答えが出たのですが、こういう方に対しての、もっと運動やりましょうとか、そういう啓蒙的な活動について何かお考えはありますでしょうか。

それともう1点は、会長が質問されました1年間で行ったスポーツ運動の中の上位ですね、個人競技っていうか、これについて何歳から何歳までが多いとかっていうふうに年齢がわかる部分があるんでしょうか。この2点です。

事務局 まず1点目の、70代が高くて60代が低い。これに対しての啓蒙ということですけども。特別何かやっているかということ、健康診断とか、健康管理課で、指導等をしている程度で、そういったことも、今後の計画の中には、取り入れていかなければいけないというふうに考えています。特別に、個人に対して、実施していないということでございます。

あと1年間で行ったスポーツの年齢別ですが、昨年度実施したアンケートのデータは今手元にないので、次回お示ししたいと思います。前回の計画の中で見ると、ウォーキングについては、若い世代から、特に高齢者に行くほど割合が高くなっているというような傾向にあります。筋トレ、体操についても、同様に高い状況にあります。

委 員 年代別の運動の実施状況に関連して、前回調査とアンケートにおいて、サンプリングの仕方とか、質問の仕方とか、何か影響があったか、或いはこういう社会環境だから変わってきているなどあるのでしょうか。

事務局 基本的にはそのアンケートの仕方については、年齢層と地域割合をもとに、無作為抽出をかけてやっている点は、変わりはありません。5年前のデータになるので、全体的には高齢化が進んでいるということと、アンケートでの誤差など、そういったものもあるのではないかと。また、質問の仕方も多少ニュアンスを変えているようなところも、あるものですから、その辺の影響ではないかと。詳細な分析はできていません。

委員 昔はこうだったのがこうなった、ということで、あんまり気にしなくていいんじゃないか。要するに、みんながスポーツをやり始めているととらえた方が、分かりやすいような気がする。

委員 4 ページ目の 1 年間で行うスポーツの種目っていうところで、これはアンケートとしては複数回答として聞いているのでしょうか。いろんなスポーツやっている人が結構いるのか、その辺分かりますか。

事務局 3 つまでということで回答いただいています。
複数選択で何と何が多いかは次回お示しします。

委員 総人口及び年齢 3 区分の人口で確認ですが、令和 7 年まで 65 歳以上が増え、それ以下の人口は減ってきている。令和 8 年度以降の計画を立てるにあたって、今後と同様な傾向として見込まれているのでしょうか。

1 年間で行ったスポーツの運動というところで、65 歳以上が増えてくるということで、考えると、そういった方々がどういう運動されているかっていうのを、把握しておく必要があると思いました。

私の職場の近くでゲートボール場がありまして、たまにやっています。年寄りの方々がいるんですけど、ここでは 0% ということで、前回いただいた資料 4 の 8 ページに年代ごとの性別で、ゲートボールやられている方がどのぐらいいるのか。女性で 20～29 歳のところで 1 人となっていたんです。こういう若い方でもやられている方がいるのかと思ったのですが、その辺、どんな、競技をやられている方が多いのか、もしわかれれば教えていただけたらと思います。

事務局 人口と高齢化の傾向ですが、人口減少については、茂原の人口で平成 14～15 年度位がピークで、以降ずっと減少してきている状況です。高齢化についても当面、続くと推測されています。

2 つ目の 1 年間でスポーツを行った中で、競技別の実施数については、絶対数がかなり少ないので、誤差といいますか。そういったものもあるのかなというふうに考えています。

65 歳以上の方について、先ほどゲートボールというお話があったんですけども、ゲートボールは少なくなっている傾向にはあります。それに代わって、高齢者の方でも気軽にできるグラウンドゴルフが 60 代から 70 代で気軽にできるスポーツとして、富士見公園の多目的広場などで行われています。

個人競技でゲートボールは、チームスポーツで、個人の責任とか結構プレッシャーがかかるというのは聞いております。そういうのを敬遠する傾向があるのではというのは、感じております。

議長 前回と今回、6 年間、その間にコロナもあったし、周りがいろいろ変わってきています。学校の先生の働き方改革やいろいろな面があったのではないかなと私も考えています。

委員 市として「市民ひとり 1 スポーツ」として進めてきましたが、世代が幅広いので、年代別である程度目標を決めて、進めたほうがいいのではないかなという思いもあります。

少子化で子供が少ないということで、子ども会の減少、部活動で子どもたちがいろんな経験をする機会がすごく奪われているような社会になっていると思います。子供たちのためにはこんな計画を、そして中高年の方々には、市の健康診断などの機会に健康体操などの資料を提示してもいいのではないかな。

新聞で 100 年健康体操という記事を見て、それを見ながらやったりもしてみたん

ですけれど。漠然と1人1スポーツということではなくて、年代別の目標を考えてもいいのではないかと思います。

議 長 ありがとうございます。他に何かありますか。

委 員 平成の最後ですけども、世界的にもマラソンとか、ランニングがブームだったので、体育の授業でもそのことをすごく意識して、掲示物を作ったりして、手軽にできるというのを進めていました。

私はその当時、西陵中学校に勤めていたので、本当に人数が少なくて部活動も集団でやる野球とかがなかったのも、個人でやれるものということで、授業の中でも、それを生徒には伝えていました。郡市の駅伝大会が、年に1回あるんですけども、陸上部もない学校でしたので、それに参加するために、全校生徒に呼びかけて練習という形で行っていました。朝練をやったり、午後やったりということで、参加率は全校生徒が多分80人もいなかったと思うのですが、半分以上の生徒が参加していました。

中学校のときに経験すると大人になったときも、運動することはいいと分かるので、地道な取り組みをすごく大切だと思っていました。個人でやるウォーキングや散歩、体操、筋トレというのも、授業の中で毎回取り入れてやっていました。最初の3分間のランニング、それから、30秒ごとの筋トレ、腹筋だとかいろんなメニューを作ってあって、そういうのをやると、最初の6分間ぐらいはそれをやるみたいな、そんな感じでやっていたので、その当時のことが本当に資料を見るだけでも、頭に浮かんできています。

私は現役を離れてしまいましたけど、先生方も同様にやっているのかなど。部活動の盛んな学校はいいんですけども、生徒数が少なくなってきた、活動もなかなか成り立たない。合同チームになったりすることで、うまくいかない場合は、体育の授業でも一緒にやるという、形がいいのではないかと思います。

議 長 ありがとうございました。

委 員 基本にご提案いただいた、基本理念というのは1ページの原案に近い形で案ができていくというイメージでいいですか。

事務局 基本理念は、まだ決めているわけではない。委員さんからご意見があれば、伺いたいというのが1つで、事務局としては、この基本理念とは別に、数値として目指すのは何なのかという点は明らかにしたい。

委 員 基本理念の「市民ひとり1スポーツ」というのは、第1次の計画から変わっていない。1次計画を策定したときは、まだこういう審議会がない状態で、体育指導員の有志と、体育課の職員で1次計画をつくった。その当時は、国や県の計画に基づき、スポーツ推進計画をつくりなさいと言われて、当時は健康寿命という点を意識して高齢者が健康になるにはどうしたらいいかというと、高齢者だけが運動するのではなく、子供から若者、働いている人、みんながスポーツに親しむことが必要だというイメージで、推進計画をつくったと思っています。

1次計画のアンケートでは「スポーツしていますか」について、52%で半分ぐらいしかしてなかった。そういう状況だったので、1つでもいいから、みんな何かスポーツしましょうと「市民ひとり1スポーツ」を提案したんだと思いました。

2次計画の時には少し上がって、スポーツしている割合が60%、今回の調査では、72%、7割以上の方が何かスポーツしているということで、健康志向も加わって、みんながスポーツしているという雰囲気になってきている。

そうすると、市民ひとり1スポーツというキャッチフレーズが、7割の人がやっ

ている状況で、合うのか合わないのか。「市民ひとり1スポーツ」は分かりやすくキャッチーで、非常にいいと思うのですが、7割ぐらいの人がもうすでにスポーツをやっている。私の知っている人でもタッチバレー、グランドゴルフ、サッカーと、いろんなスポーツをやっているので、7割の人がスポーツやっている状況の中でこのキャッチフレーズが、違和感があるかないかということを思った次第です。

副題の「スポーツを楽しむ健康で活気のあるまち」を生かして、わかりやすいものに、現状に合うものにしてもいいのかなというふうに思いました。

資料で各市の基本理念を見ると、一番簡略でわかりやすくインパクトあるんですけども、これがすべてを言い切っているのかどうか、目指すところをすべて言い切っているかということ、言葉足らずのような気がします。

議長 ありがとうございました。

先ほど、事務局から説明があったように、基本理念で何を目指していくのかということで、皆さんから意見がありました。もう少しわかりやすく、年代別でのスポーツで何かを目指していくのか、そういう形になっていくのではないかと私も思いました。

委員 私もキャッチフレーズ的なところには、どうかなと思うところがあって、8万5,000人の茂原市民の方がいて、その中には、本当に健康な方もいれば、先ほどのアンケートでは、自分で健康ではないと思っている方もいます。持病で関節痛を持っている方もいるというふうに、8万5,000人の中にはいろいろな中が思う。

全員にひとり1スポーツと言われたときに、やりたいけど、できないっていう方が、いたとしたら、このテーマはもしかしたら、きついことになるのかなと感じました。

やっていこうということは、本当にいいと思いますし、この計画の中で目指していくべきものは何かと聞かれたら、週1回以上スポーツをやる人が増えればいいというふうには、それが理想だと思うのですが。私としては週1回っていうような数値目標を明確に示すのではなくて、本当はやりたいけどできないという方もいるとすれば、先ほどもありましたけれども、そのライフステージとか、自分の体力であるとか、健康度に応じた目標を持って、体を動かすことが楽しいとか、気持ちがいいと感じられる人が1人でも増えるということ、目指していったらいいと個人的には思います。

スポーツの捉え方は、計画ではスポーツという言葉を使わなければいけないかもしれないんですけど、スポーツと言われるとちょっとハードルが高くなって感じる方もいらっしゃる。ですので、スポーツのとらえ方として、遊ぶことだとか、体を動かすこと、活動すべてがスポーツだと茂原市ではとらえていると書かれているので、この辺を、スポーツという言葉を使うのであれば、使っていくんだけど、スポーツのとらえていうものを、市民の皆さんに、周知する必要があるんじゃないかなと。スポーツをこのようにとらえているってことを、知っている方がどのくらいいるのかなっていうのを心配になるところではあります。

本当に関節痛とかで、なかなか動けない人にとっては、例えばおうちで、お掃除するとか、草をとるとか、階段を上ることも、その人にとってはスポーツなんですよみたいな。何かそういう、周知ができれば、自分も運動していると思える方が増えるんじゃないかな。

まとめませんが、目指すべきものと聞かれたら、やはりライフステージとかその個人に応じて、体を動かすことが楽しいとか、気持ちいいと思える、感じてくれる人が増えてくれたら、そういうところを目指したらいいんじゃないかなとは思っています。

ありがとうございました。

議長

どうでしょうか事務局の方は今からいろんな意見が出たと思います。
また参考にして、よろしくお願ひしたいと思います。

(2) 第3次茂原市スポーツ推進計画の基本目標について

説明をお願いします。

事務局

基本目標についてご説明させていただきます。資料4をご覧ください。

1 現計画の基本目標ですが、現計画の基本目標は、

- I 生涯スポーツの推進
- II 競技スポーツの推進と指導者の育成
- III スポーツを活用した地域づくり
- IV スポーツ施設の整備と有効活用

の4つを定めています。この内容は第1次の計画から変更はありません。

「2 基本目標とは」ですが、計画の基本目標とは、事業や施策を推進するにあたり、目指すべき方向性や目的を明確にしたものです。現計画では4つの基本目標を定め、それぞれの目標の達成により基本理念の実現を目指しています。また、目指す目標を明確にし達成状況を把握するために数値目標を定めることが一般的となっています。

「3 検討にあたって」ですが、今後5年間での課題は何か。先ほど基本理念の中で市としての大きな目標についてご議論をいただきました。基本理念の目標を実現するために何が必要なのか等について、ご意見をいただきたいと考えております。

具体的には、資料5をご覧ください。これは資料3の中にある15の自治体の基本目標（基本施策）を施策区分毎に一覧にしたものです。

茂原市では4つの基本目標を設定していますが、他自治体では3つから6つの基本目標を設定しています。表現はいろいろですが、概ね5つの施策区分に分類できます。

今後5年間で実施していく施策は、これまでと全く異なるものではありません。次期計画では、これまでの事業等を取捨選択して時代のニーズにあった取り組みに変えていく必要があると考えています。

各委員の皆様にはどのように施策に取り組んでいく必要があるのか、どのような点に配慮すべきかなどについてご意見をいただきたいと思います。説明は以上となります。よろしくお願ひいたします。

議長

時間を差し上げますので、考えていただきたいと思います。

委員

会議の進め方の確認ですが、2次計画だと計画の基本目標に関して4つの項目を立てています。今後、詳細についてこの場でどういう形で議論されるのか。次回の会議のときに詳細を検討するのか。

事務局

会議の進め方については、この場で、基本目標を具体的に決めるというのは、なかなか決まらないと思いますので、お聞きしたいのは、こういったところを重点的にやっていくべきなどという、そんなお話をいただくと、それをもとに、事務局で案を検討してまいります。

委員

議題から離れてしまうかもしれませんが、競技スポーツの推進と指導者の育成が、現計画の基本目標にあるのですが、学校のクラブ活動が地域移行ということで指導者と子供たちの気持ちとの、乖離が進んでいるのではないかなと思います。これがここに入っていることは、疑問に思います。実際、市としてはどういうふう

地域移行というのを進めていくのか。ウォーキングが盛んだというように、個人スポーツは盛んになって、団体競技に関して、なかなか難しい状況になると聞いております。

茂原市が競技スポーツとして、スポーツを推進していくのか、またその指導者というとはやっぱり、まずは学校の先生になってしまうのか、育成に関してどのようにお考えなのか。最近そういうことを疑問に思いながらあちこちのポスターを見てみると、意外に、キッズスポーツのバスケットだとか、男子のバレーだとか、それから野球とかいろいろ募集しているポスターを見かけるようになりました。そして、体育館に来て地域スポーツに参加しようと、何か大きい綺麗なポスターの案内があって。そういうことを市民がなかなか目につくことがないではないでしょうか。私でさえも体育館に月1回は来ているんですが、こんなポスターがあったと初めて見ましたので、そういったものをもっと市民に提示していくことも大事なんではないでしょうか。

今新聞をとっている家庭というのは、減少しているようで、広報を見ている方も少ないんですね。なので、その辺をどのように周知していくかということもご検討いただければと思う。

事務局

競技スポーツの支援は、市としてこれまで取り組んできましたが、直接的には、学校が主体になったり、地域クラブが主体でやっていて、市は側面的な支援を中心にやってきたと。資料の5で見てわかる通り、競技スポーツの推進については、それを柱に据えているところが少ない。市として、今後、全くやっていけないということではないのですが、スポーツ推進計画を立ててく中で、役割を考えて、計画をつくる必要があると考えています。

今、お話のあった中学校の地域移行の関係ですとか、その他の競技の支援は当然やっていくんですけども、柱としてするのかどうかは、検討すべきなのかなと考えています。

いろんなスポーツへの取り組みの市民への周知というのは、まだまだ十分ではないというのは認識しています。市としては、広報紙の中で、スポーツ茂原というコーナーで、活躍した個人とか団体とかと掲載し、表彰等も行っています。そういう掲載はしていますけども、もっと周知していかなければいけないと考えています。

委員

学校スポーツというのは、競技スポーツに入るというよりは、この推進計画だと生涯スポーツの推進の中で、幼児期から小学校中学校、或いは外部指導者の活用、スポーツ少年団、そういう年代別の支援のところに、書き込まれるような気がする。この競技スポーツの推進っていうと、例えば県大会とか国体とかオリンピックと、そういう競技スポーツを茂原市として支援しましょうっていう趣旨だと思うのですけれども。

他の市町村を見てもわかるように、これを上げているところはあまりないですよ。茂原市位の規模の市町村で、この競技スポーツを、真剣に取り組ましようというのは必要だとわかるけど、どこまでその目標としてあげるのか、逆に目標をあげるとした場合、その目標は何か、というのがあって、単に競技スポーツの振興というのは、或いは結果を出せということまで求めるのか。今の2次計画でも、この競技スポーツのところは曖昧になっている。どこまで必要かという議論は必要であるかなと思います。

委員

いろいろご意見出ている中で、やはり競技スポーツの推進と指導者の育成という基本目標のところなんですけど、この中で、組織の育成と競技力の向上、指導者の育成、スポーツ大会の開催と交流促進と、いろいろ項目がありますけども、以前も危惧したことがあるんですけど、指導者の育成の推進ということで、具体的にまだできていないのではないかな。指導者バンクの制度の設立とか、指導者の育成、指導者の資質向上に向けた研修とか、こういうのは実施されているのでしょうかというのが

1つ。

競技スポーツの推進となると、何か競争しなさいと。勝負をはっきりさせないとスポーツ的なものになってしまって、市民の方がこういう中に入っていけるのかどうか、というのを考えたところです。

余談ですが、野球関係でプロとアマチュアが一体となって、日本野球協議会という組織ですが、ここが全日本野球サミットという会議をやりましょうと決まってきました。これは、中学生の球児を応援するプロジェクトですと。中学生の野球が上に行くためには、底辺がしっかりしないといけません。そのバックアップをしましょうと組織を作ったんですね。これは野球だけじゃなくて、各部活でもありますが、少子化だとか、教員の先生方の負担軽減のために、今、国で進めている、地域展開に合わせたものだと思うんですね。

これについて、そのプロジェクトも課題としては、地域展開はスポーツクラブ、民間指導者がいるかどうかというのが非常に課題になっています。それからプラス面では、部活動からクラブ活動になることで、いろいろな運動も文化部の活動もできて、いろんな指導者と会えるというプラス面もあるというところを踏まえて、野球会は、このような動きが、出てきています。

プロとアマチュアが、一体となって、こういう動きをしましょう、活動しましょうと。これは先ほど言いましたように、地域移行に関するバックアップだということになっています。これは野球会だけではなくて、各競技団体、バレーボール、卓球などがあると思うんですが、それぞれのいいところを取り入れて、バックアップすることも必要だということがあります。ちょっと外れましたけどご説明させていただきました。

事務局 指導者の育成に関しては、市として直接取り組んでいるものではなく、各団体にお任せしているというのが実情です。市によっては、指導者研修ですとか、そういったものも、取り組んでいるところがあるのは承知しているんですけど、そこまでできてないというのが実情です。検討しなければと考えています。

委員 指導者バンク制度の中で、何名か登録されたということを見たんですけど。

事務局 地域展開のほうでは、11名登録している。

委員 そのマッチングは考えています。

委員 どのようなスポーツ施策に力を入れるべきか、ということでシートにあるので述べさせていただきます。私も60歳を過ぎていて高齢者目線になってしまっていますが、茂原市のスポーツを推進するという意味では、高齢者のなものもあるし、競技スポーツの推進も必要なのではないかと思います。

茂原市出身のすごい選手が活躍したらやっぱり嬉しいので、そういう人たちを育てていくというのは、大事なことで市のためにも大事なんじゃないかなというふうに思います。世代とか年齢に応じてバランスよく進めていくことが大事だというふうに思っています。

何に力を入れていくべきかと問われたら、第2次計画の10～11ページの体系では「1の生涯スポーツの推進」の、「4番のスポーツによる健康増進の充実」と、「3のスポーツを活用した地域づくり」の「4番のスポーツによる地域活性の推進」というところを継続的に力を入れて進めていただけたらありがたいと思います。

先ほどもお話したように、体を動かすことが楽しいとか、気持ち良いと思ってくれる人が多くなって欲しいというのが、私として願いであり、それを体を動かすことが楽しいと感じられるためには、やはり地域との関わりの中でとか、地域の魅力を生かして、それが味わえると、運動の継続に繋がるのではないかと思います。

ご存じの方がいるかどうか、「ぐるっと長生きフェスタ」というイベントをやっているのを知っていますか。長生郡市の7市町村の産業振興課や観光課が主催し、

年に1回、2月とか3月に開催し、今年は長南町で開催したんですけど、10キロぐらいのノルディックウォーキングというポールを持って歩くウォーキングですけど、長南町の名所を歩いて、長福寿寺や野見金公園、笹森寺など10キロぐらいのコースを歩くイベントがあります。前年度は睦沢町でやったんですけど、自分は自分自身の健康のためにウォーキングを始めて、そういうイベントがあるっていうのを知って参加させていただきました。茂原市でもいいところがあるから、茂原市が担当する年もあると思うんですけど、本当に楽しくて、自分が健康のために初めて歩くだけでなく、いろいろ人との関わりとか地域を巡っての楽しさを知ったので、今も日常的に動き続けられています。

年に1回、来年はどこの市町村かなと思い、みんなに遅れとらないように歩いて、それを楽しみにして歩いている。生涯スポーツの推進とその地域のよさを生かしたイベントを組み合わせて、運動し体を動かすことが楽しい、幸せだと思えるようなきっかけづくりを茂原市として進めていったらいいんじゃないかと思います。

委員 生涯スポーツの中で、パラスポーツのことが書かれていたと思いますが、前回の資料等を見てパラスポーツの教室を全10回やって、延べ人数で420人、1回当たり40人位いたかと思うんですけど、競技としてのパラスポーツについて、把握されているのかお聞きしたい。

事務局 現状のパラスポーツにつきましてはパラスポーツ教室と言っているんですけど、競技スポーツという側面ではなく、日頃施設から出て運動する機会のない方を対象に、市民体育館でボッチャ、卓球、輪投など簡単に体を動かせるような障害者の方でもできるようなスポーツを体を動かす他、外に出て皆さんと触れ合うきっかけをつくるような目的で実施している。パラスポーツもばらという組織があり、指導者資格を持った指導員もおります。いろいろな障害を持った特定の施設の方達が定期的に来てスポーツの楽しさを感じていただいているところです。

委員 個人的な感触です。例えば1番目の生涯スポーツの推進というのは、子供から高齢者までスポーツに取り組めるようにするものだと思いますが、硬いなという感じはしました。生涯スポーツでも他市ではいろいろな言い方をしている。大田区は「誰もがスポーツを楽しめる機会づくり」としており、市民にわかりやすい方がいいと思います。

4番目の、スポーツ施設の整備というのも、これから先に箱モノがつくられるというのはなかなか厳しいので、施設に特定しないで「スポーツをする環境の整備」などとした方がいいのではないかと思います。

議長 ありがとうございます。

私も先ほど言いましたが、部活動は移行ではなく地域展開になってしまったみたいですけど8年度がリミットで、やっているのは富士見中の柔道クラブで保護者がやっている。あとはまだ、厳しいような状態で、文化系の吹奏楽なども移行しなければいけない。学校でできるのは平日のみで、土日は活動がなくなってしまうのではないかな。先ほど出ました指導者についても厳しいようで、何名か登録したみたいですが、担当の人が企業にも働きかけてやっているということなんでしょうか。ジャパンディスプレイや双葉電子などいろいろなところに働きかけてやっているみたいですけども、企業の方は厳しいと言っていたようです。

先ほど出ましたけど、生涯スポーツはもっとやさしくしていいと思いますね。この中で子供とか、パラスポーツは一応みんな入っていると思います。スポーツ大使の交流も入っているわけなんですけど、交流等ができるかどうか。ちびっこ相撲などを見ていると、交流していますけども、高梨選手とかいろいろな選手がいるわけなんですけども、かそういう選手と定期的に交流できたらいいなと思っています。

- 議 長 皆さんの意見が基本目標についていろいろ出たと思います。
事務局の方、どうぞよろしくお願いします。
続きまして、順番にいきますと3ですか。
その他ということで、事務局から何かありますでしょうか。
- 事務局 今回資料を送付した中に、第1回の会議録を送付させていただきました。
会議録については、基本的にできるだけ話したとおりに記載したつもりですが、
話していると言葉が足らなかったり、無駄な言葉があったり、そういう箇所は修正
をさせていただいて、できるだけ発言の通りに記載をさせていただきましたが、会
議の中で、世間話的なところは削除させていただきました。
ご覧なっていて、修正等があれば、お願いしたいと思います。また後で気
が付いたら、ご連絡いただきたいと思います。会議録については、近日中にホーム
ページに、掲載をしたいと思っていますので、よろしくお願いいたします。
- 議 長 以上をもちまして、本日の議題は一応終了いたしました。
これで議長の任をさせていただきます。いろいろご協力ありがとうございました。
- 進 行 中村会長ありがとうございました。
本日は長時間にわたりご協議いただきましてありがとうございます。
最後、その他でございますけれども、委員の皆様から何かございますでしょう
か。よろしいでしょうか。
- それでは事務局から連絡事項でございます。
 次回が3回の審議会でございます。10月2日、木曜日、15時から、会場は市民体
育館のこの場所で開催いたします。概ね1ヶ月前に開催通知を、各委員の皆様が発
送いたしまして、会議資料につきましては、1週間前をめどに送付いたしますの
で、よろしくお願いいたします。
 それでは以上をもちまして、第2回茂原市スポーツ推進審議会を終了とさせてい
たいただきます。長時間に渡り皆様ありがとうございました。